

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調書

3 - 2

3 - 2

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
節			
事業(施策)名	2 佐渡金銀山遺跡等発掘調査	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28 ~ H34	関連団体	県文化行政課
事業概要	<p>【事業目的】 構成資産の価値をより高めるとともに、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。</p> <p>【事業内容】 構成資産や関連する遺跡等を対象として、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値をより深めるための研究を推進・継続する。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 平成28年度に実施した西三川砂金山関連遺跡の発掘調査にかかわる出土品の整理作業及び平成30年度の報告書刊行に向けた編集作業を実施する。</p> <p>【29年度実績】 西三川砂金山関連遺跡の発掘調査出土品や図面類の基礎整理作業を実施した(世界遺産の他事業と調整のうえ、他事業を優先すべき事態が生じたことから、報告書刊行に向けた編集作業については平成31年度以降に延期した)。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 今後、構成資産に係る地下遺構の保存や整備活用を推進するにあたり、中・長期的な調査計画を策定する必要がある。 これまでに実施した分布調査等の事前調査成果や文化庁・専門家の意見をもとに、調査内容の検討や調査地の選定を行う必要がある。</p> <p>【今後の取組】 構成資産となる多様な時代の遺跡が広域に分布することから、明確な調査目的のもと中・長期的な視点に立った調査計画を策定する。 分布調査成果や文化庁・専門家意見等をもとに、調査内容や調査地の検討を行う。 世界遺産推進課が所管する他の事業と調整のうえ、平成31年度以降に西三川砂金山関連遺跡の報告書刊行に向けた校正や調査報告書の印刷製本を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a・b (C) }</p> <p>【事業実施の効果】 { a・b (C) }</p> <p>【総合評価】 { A・B (C) }</p> <p>世界遺産推進課が所管する他の事業との調整の結果、報告書編集に係る作業について延期としたことから、C評価とした。</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。